

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(等)	出典	概要
												BSE	Canadian Food Inspection Agency 2007年3月26日	2007年2月7日、CFIAは、2007年1月20日から22日の間に 体調不良の後死亡したAlbertaの肉牛はBSEであると確定 した。カナダにおける9頭目のBSE牛である。死体は管理 され、どの部位もヒト食料または動物の飼料に入らな い。この牛は死亡時79月齢の未登録Angus雄牛 であり、当該農場で出生し、移動したことはなかった。国 際的ガイドラインに従った疫学的調査が開始された。当該 農場で出生または生育した593頭について出生および飼 料コホートが実施された。
												クロストリジウ ム感染	YOMIURI ONLINE (2007年2月23日 読売新聞)	千葉県の船橋市立医療センターは22日、同県内の50歳 代の男性が、主に牛の病気の原因とされる「気腫菌」に 感染し、死亡したことを明らかにした。人への感染が報告 されたのは世界初である。気腫菌は傷口などから動物 の体内に入り、筋肉が壊死する「気腫症」を発症させる。 同センターは、「気腫菌」は人にも感染しないというのが これまでの常識だった。詳しい感染経路を調べることが今 後の課題」としている。
												異型クロロイン フェルト・ヤコ ブ病	Eurosurveillance weekly releases 2006; 11(12)	米国で3例目のvCJD症例が確定された。サウジアラビア で生まれ育った若年成人で、2005年後半から米国に住ん でいる。2006年11月後半にアデノイドおよび脳生検により 確定診断された。この患者に輸血歴やヨーロッパ訪問歴 はなく、子供の頃にサウジアラビアでBSE感染牛製品を摂 食したことが原因と思われる。この患者に供血歴はなく、 公衆衛生学的調査により、米国住民への伝播の危険は ないと同定された。
290	2007/06/27	70280	ワイス	エタネルセプト(遺伝子組換え)	仔ウシ血清	ウシ血液	米国	製造工程	有	無	無	異型クロロイン フェルト・ヤコ ブ病	CDC 2006年11月29 日	70289に同じ
												BSE	Canadian Food Inspection Agency 2006年12月18日	70289に同じ
												BSE	Canadian Food Inspection Agency 2007年3月26日	70289に同じ
												クロストリジウ ム感染	YOMIURI ONLINE (2007年2月23日 読売新聞)	70289に同じ
												異型クロロイン フェルト・ヤコ ブ病	Eurosurveillance weekly releases 2006; 11(12)	70289に同じ